

ズバリ!聞きます



高巢 泰廣議員

産廃処分場問題

町は将来に亘って
「安全・安心」の確実な担保を!!

[町長] 県に対し、地元の思いを真摯に
受け止め、強い覚悟を持って
取り組むよう、強力に求めていく。

問 産廃処分場問題は平成18年3月、県が南関町下坂下地区に建設を発表以来6年が経過、建設地と和水平町は隣接地将来に亘り安全・安心への不安で地域は対策に翻弄、県との対話・対策検討は40回あまりを重ね、いまに至っている。3月には隣接町長の容認表明8月には基本協定書の調印と状況は大きく動いた。内田・長小田地区対策協議会は議論を重ね、賛成ではないが将来における地域の安全確保と環境が整備され、安心して暮らせる環境保全することを願う苦渋の決断をし、協議のテーブルに付くことを決めた。この事を踏まえて11月25日、町長は県と基本協定書への調印となったが、今後の対応について伺う。まず、大きく動き出した状況をどのように考えておられるのか町長の心境を伺う。

答 (町長) 処分場建設発表から6年を経て今日に至っており、内田・長小田地区の皆さんには大変な心労をかけている。6年余りに及ぶ議論・将来不安を乗り越え、賛成ではないが話し合いのテーブルに付く事を両区総会に於いて決議された事に感謝する。知事は調

印の場で、建設運営に当たっては極限まで安全性を追求、将来に亘り責任を持つと明言されたが、県当局には今まで以上に地元の意向を汲み上げ、安全性の追求・周辺環境整備について協力を要望していく。

問 今後の諸協定書の作業行程は(県より作業手順の打診等があったか)どうなるか。

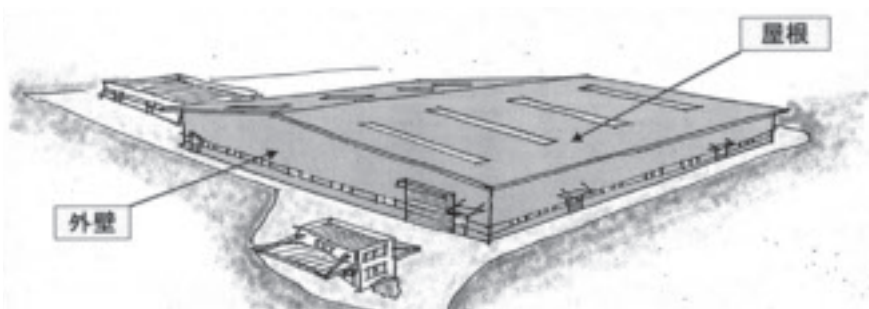
答 (町長) 現時点での作業行程は決定していない。今後事務レベルで協議に着手する予定。県の説明では年度内に環境保全協定書の調印を目指す意向。今後作業行程を確認した上で、地元の意見を伺い、協議を進めていく。

問 県との協議にあたり、町長の基本方針と決意を伺う。

答 (町長) 地元の気持ちを十分理解し、将来に亘り安全性追求を強力に図らねばならない。県は地元の苦渋の思いを真摯に受け止め、しっかりと答えて頂きたい。今後は町と地元協議会が一緒になり全力で、今日の不安を払拭していきたいと考えている。

その他の一般質問は、次の通り。

◎環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加と和水平町農業の振興方策について



クローズド型処分場の外観イメージ

元気村の経営改善を！

[町長] 早い時期に
一つの方角を示したい。



笹渕 賢吾 議員

問 三加和温泉センター、緑彩館、あばかん家は株式会社元気村の経営悪化で持続困難になり、来年4月から指定管理者を公募で選定する方針だが、応募状況と今後の進め方について伺う。

答 (町長) 三加和温泉施設の指定管理者募集は、交流センター、緑彩館とあばかん家との2物件に分け、2つの物件とも1社と1企業体から応募があった。1企業体から応募辞退届けが提出され指定管理候補選定審議会で1社の審査を行い、交流センター、緑彩館は、応募要項に合致する指定管理者候補なし、あばかん家は審査を保留にしている。しかし、4月から三加和温泉施設を閉鎖するわけにはいかないで株式会社元気村を一年間に限り指定管理し、その間もう一度公募を検討したい。施設の敷地、施設等に関して譲渡や売却も視野にいれながら早い時期に一つの方角を示したい。

問 これまで元気村の経営悪化の問題について町100%出資なので代表株主の町長に発言権があったが、指導的役割を果たさなかった。6月議会で経営を立て直すために元

気村に6、300万円を増資したが、経営は一向によくない。どんな経営改善策を取ったのか。その経営改善を行って結果は出ているのか。

答 (町長) 取締役総入れ替えをした結果は、非常に厳しい状況が続いている。ロマン館の専務もいっしょに改善策を整えていただくようお願いしたが、周りに新しい施設ができてそちらのほうにお客が回ったなどお客が減少した。今後いち早く立て直したい。

問 これまで町民、利用者、生産者などの意見が出て受壁を作つて受け止めなかったが、受け止めて経営改善に結び付けていくのが大事だ。取締役が日常的に経営を把握するのは当たり前だが、新しい取締役にたつて10ヶ月がたつのにならん改善されない。こ

のままいくと赤字になり町の税金投入になる。このやり方は断ち切るべきだ。

答 (町長) 取締役は一生懸命頑張られたけれども、今日の結果になった。トップである私の指導がいたらなかったという指摘だったら受け止めたい。その他の一般質問は、次の通り。

◎学校統廃合について

◎住宅リフォーム助成制度について



経営改善が求められる(株)肥後元気村